

Release Notes—AJA Mac Plug-Ins for Adobe Version 7.1

対応製品：KONA 3/LHe/LHi/LSe/lo Express

このソフトウェアリリースにはMac OS X上で動作するAdobeビデオアプリケーション用のプラグインソフトが含まれています。初めてKONAカードおよびlo Expressを使う場合は、Read Me First書類、ユーザマニュアルを必ず確認してください。このソフトウェアリリースは、対応製品に新しい機能と動作の最適化を提供します。

システム要件

- ・ QuickTime 7.6以降
- ・ Mac OS X 10.5以降
- ・ AJA KONA/lo Express ドライババージョン7.1（別途インストールが必要です）
- ・ 推奨システム環境と設定については、下記URLを参照してください

<http://www.aja-jp.com/support-kona-rec-sys.html>

- ・ Adobe Premiere Proを使用する場合は、バージョン4.2アップデートが必須
- ・ Adobe Media Encoderを使用する場合は、バージョン4.2以降

※このドライバはAdobe CS3をサポートしていません。

新機能

- ・ lo Expressをサポート（Photoshop、AfterEffects、Premiere Pro）
- ・ KONA ドライバ7.1をサポート
- ・ “Playback Option”のインターフェイスを刷新した 新しいPremiere Pro プレイヤー
- ・ Premiere Proでの新しいオーディオデバイスハンドリング
※KONAまたはlo ExpressをPremiere Proのオーディオ出力デバイスとして使用する場合は、環境設定のオーディオハードウェアでKONAまたはlo Expressを選択する必要があります。この機能の詳細は、lo Expressユーザズマニュアルの82ページ（英語）を参照してください。
- ・ Premiere Proにおいて、KONA LHiおよびlo ExpressのHDMI出力の設定を追加
- ・ DVCPRO HDのエンコーディングパフォーマンスを最適化
- ・ 新しいAJA Transformエフェクトを追加（Crop/Flip/Pan/Tilt）

改善点

- ・ Premiere Proにおいて、長尺または大きなプロジェクトを操作した場合のパフォーマンスを最適化
- ・ Premiere Proのソースモニターとプログラムモニターの品質を改善
- ・ Premiere Proにおいて、ネストされたシーケンスの挙動を最適化
- ・ Premiere Proにおいて、タイムラインの映像と音声の同期品質を改善

既知の問題と制限事項

- ・ プログレッシブフォーマットのプロジェクトでHDMI出力を得るには、ほとんどの場合“PSFではない正確なプログレッシブ”設定にする必要があります。プログレッシブフォーマットを取り扱う場合の多くは、HD-SDIやアナログコンポーネント出力のために、PSF (Progressive Segmented Frame) としてプロジェクトを設定します。AJAの1080pプロジェクト設定もデフォルトではPSFに設定されています。HDMI出力のために強制的にプログレッシブ設定を行うためには、Premiere Proの再生設定の“disable segmented frames”にチェックを入れる必要があります。
- ・ Core Audio ドライバは、Premiere Proでは使用されなくなりました。このドライバは未だにオーディオハードウェアの選択肢として表示されますが、KONA 3/KONA LHi/Io Expressなどを選択する必要があります。Core Audioドライバを選択した場合、音声に関する問題が発生する可能性があります。この件に関する詳細な情報は、Io Expressユーザーズマニュアルの82ページ（英語）を参照してください。
- ・ Adobe Premiere Proの使用中に再生を停止した場合、CTIは1～2フレーム前にずれる場合があります。
- ・ Adobe Premiere ProからQuicktimeファイルをエクスポートする場合、AJAのFile Exporterを利用する必要があります。Premiere Proが提供するQuicktime File ExporterとAJA製品を併用することは、Premiere Proがクラッシュする原因となる可能性があります。
- ・ AJAデバイスコントロールダイアログは、Premiere Proのキャプチャウインドウを閉じる前に閉じる必要があります。先にキャプチャウインドウを閉じた場合、Premiere Proがクラッシュします。
- ・ 今すぐキャプチャ時には、RS-422経由でタイムコードの記録ができません。タイムコードが必要な場合にはRP-188エンベデッドタイムコードを使用して下さい。
- ・ 一部のSony製VTRをジョグ機能でリモートコントロールする場合、正しく動作しない場合があります。
- ・ Premiere Pro の設定のうち、「render RT files of different resolutions」のチェック/アンチェックの切替えは、すぐには効果が反映されません。一旦プロジェクトを保存し、再起動を行う必要があります。
- ・ Variable Frame Rates (VFR) のプルダウン追加は、タイムコード情報に最適化しません。
- ・ 今すぐキャプチャ及びビデオにプリント時に、プルダウンフレームレートは動作しますが、インサートエディット及び、In/Outキャプチャ、バッチキャプチャでは動作しません。